

板橋シニアアンサンブルができました！！

去る2月9日(月)板橋S.E.が都内10番目として発足し当連盟に加入した。

板橋は滝野川、五反田S.E.でVn仲間の黒須治子さん(世田谷在住)が同区常磐台のご出身と伺い設立を呼びかけ実現したものである。

最近マスメディアの団員募集広報がなくなり、専らチラシを公民館に配布依頼するなどの苦戦が続き、小さく産んで大きく育てる方式をとっている。一昨年発足した越谷、大田S.E.は各々13名での発足が現在20名を超えている。当団もこれから区内の人たちに大きくPRすることになっているが幸いにも関口さんという多彩な楽器演奏と柔道五段というスーパーマンが入団されてご協力下さること、嬉しい限りである。

先生は葛飾や五反田S.E.でおなじみの五十嵐淳先生、未だにマイナーな楽団にて収入が乏しいため謝礼面で多大なご協力を頂き感謝している。

当日は早速5曲練習したが皆ほかでの経験者が多く最初から美しいハーモニーになった。当日は私の91歳の誕生日で練習の途中で「ハッピーバースデー…」が合奏され記念のお菓子や皆の寄せ書きの色紙を下さり感謝感激でした。

この団を立ち上げるために、練習会場の確保や団員募集チラシの公民館への依頼などで尽力された黒須さん、周囲の団員に入団を呼びかけて下さった齋藤美奈子さん、越谷S.E.に続いて団の運営のマネージャーを引き受けて下さった大谷章一さんなど献身的にご協力下さり感謝している。板橋S.E.がよりすばらしい楽団に成長するように全力を尽くしたい。



代表 岡村斉能

私たちの楽団を紹介します



東京コーモド

室内アンサンブル

全日本S.E.に登録した時の活動拠点は都心の千代田区九段にありました。練習会場の道路を隔てた目の前には九段会館があり戦中戦後を通して地域から愛され会議やイベントに幅広く利用されてきた由緒ある建物でした。しかし、2011年に東北大地震が起こり、大ホールの天井が落下し死者2名が出るという大惨事に見舞われてしまいました。我々は4ヶ月前にこのホールで演奏会をしていました。

その後ここは国から民間に払い下げられ今は跡形もなくなってしまうました。震災の爪痕は遠く離れた都心にもあったのです。

その1年後練習会場を港区に移し名称も東京コーモド室内アンサンブルに変え新たに再出発しました。コーモドとは音楽発想用語で気楽に、気持ちよくという意味がありその思いを込め団名に取り込みました。

港区で活動して14年になるのに団員数は一向に増えません。港区の広報に2度募集を載せましたが効果無し。港区には昼間楽器の出来る暇なシニアはいないの？又、土地柄駐車場を使用できずキーボードなど大きな楽器は集められません。

都心ならではの悩みを抱え今は弦、管、ピアノの11名で今後の存続を心配しながらも楽しく演奏を続けております。



全員入れ替わってしまった九段会館時代の写真です

代表 瀬尾崇子